

平成19年11月15日
消 防 庁

「平成19年度救助技術の高度化等検討会」の発足

消防救助隊が行うロープを使用した救助活動は、主としてナイロン製3つ打ちロープ、スチール製カラビナ及び滑車を組み合わせた救助体系であり、各種の救助事案に対応してきました。

近年、ロープ等を使用した救助活動を、より安全・確実なものとし、その迅速化及び省力化等を図るため、編み構造ロープ及び同ロープに関連する山岳資器材等を取り入れた消防本部が見受けられます。

そこで、今後、より一層効果的な救助活動が行えるよう、山岳資器材等を使用した救助技術について検討を行います。

また、本検討会には、具体的な作業を行うための作業部会を、併せて設置します。

1 検討事項

救助事案における山岳資器材等を使用した救助技術について

2 メンバー

<検討会>

(五十音順・敬称略)

印南 正夫	さいたま市消防局警防部参事(兼)警防課長
鈴木 恵滋	株式会社アルテリア 代表取締役
田島 松一	東京消防庁警防部救助課長
蓼沼 朗寿	全国過疎地域自立促進連盟 専務理事
西崎 哲夫	札幌市消防局警防部消防救助課長
東 秀訓	文部科学省スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課 登山研修所 専門職
兵谷 芳康	総務省消防庁国民保護・防災部参事官
藤原 尚雄	日本レスキューインストラクター協会 代表
松本 好憲	東京製綱繊維ロープ株式会社 品質保証部長
笠 俊夫	福岡市消防局警防部警防課長

<作業部会>

甲斐 康仁	東京消防庁警防部救助課救助係主任
米崎 洋治	福岡市消防局警防部警防課救助係長
鈴木 恵滋	株式会社アルテリア 代表取締役
谷口 敏弥	札幌市消防局警防部消防救助課救助係員
坂野 優	総務省消防庁国民保護・防災部参事官補佐
東 秀訓	文部科学省スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課 登山研修所 専門職

藤原 尚雄	日本レスキューインストラクター協会 代表
松本 好憲	東京製綱繊維ロープ株式会社 品質保証部長
吉沢 俊二	さいたま市消防局警防部警防課長補佐 (兼) 訓練救助係長

3 スケジュール

平成19年11月19日に第1回検討会・作業部会を開催し、年度内に報告書を取りまとめる予定です。

<連絡先>

消防庁国民保護・防災部参事官付 坂野補佐 皆川係長

電話 03-5253-7507

FAX 03-5253-7576